

適応基準

- 治療時の年齢が16歳以上。下肢の場合は30歳以上。
- 認知機能がほぼ正常で、うつ病がない。
- 透析治療を行っていない。
- クリップ、コイル、ステントといった頭蓋内金属が入っていない。
- ペースメーカーが入っていない。
- 過去1年間、けいれん発作を起こしていない。
- 脳波で異常がない。
- 日常生活が、ほぼ自立している。
- 1日4時間のリハビリテーションを行える健康状態である。
- 上肢の場合、手を握ったり開いたり、指の曲げ伸ばしができる。
- 下肢の場合、補助具や装具の使用有無に関わらず、介助なしで10m程度歩行できる。

問い合わせ先

***ご希望の方は、まずは電話でお問い合わせください。**

電話：地域医療連携室 052-835-3473

電話受付時間：月曜日から金曜日（祝日・年末年始を除く）
8時45～17時00分

ホームページ・X

● 事業団ホームページ

(<https://www.nagoya-rehab.or.jp>)



● 事業団公式X

(最新の情報を公開しています)



是非ご覧ください！



あなたの「らしさ」をかたちに

社会福祉法人

名古屋市総合リハビリテーション事業団

rTMS治療のご案内 (上肢のリハビリテーション)



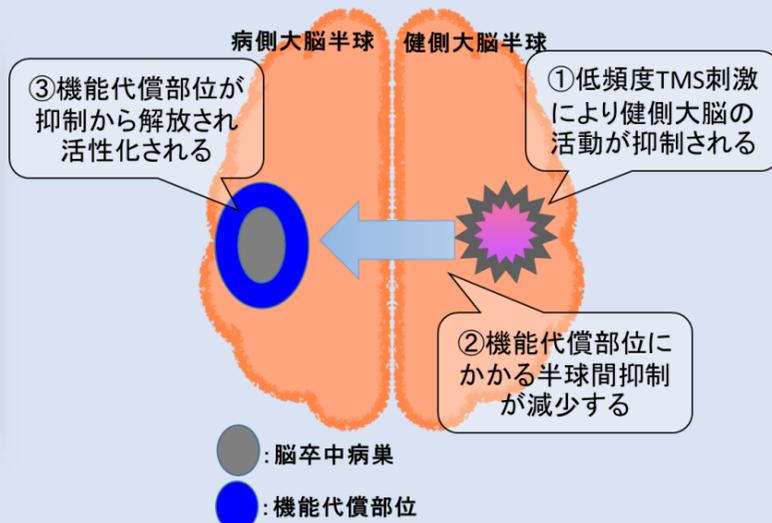
経頭蓋磁気刺激（TMS）とは

特殊なコイルを用いて脳の外側から脳を局所的に刺激する治療法です。TMS治療は、既に障害を負った脳組織を再び活性化させる治療ではなく、健全な脳組織を刺激して機能代謝が活発に起きるようにする治療であり、脳の持つ回復力を最大限に引き出す治療法です。

rTMSの治療とは？

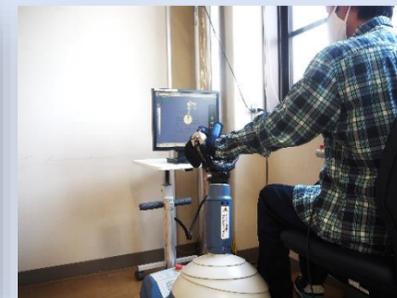
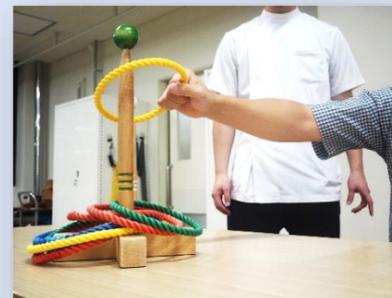
脳卒中後、健康な脳から障害の起きた脳に対して働きを抑えるような力が強まり、アンバランスな状態となります。

TMSの治療では1秒間に1回という低頻度の刺激を健康な脳に与えます(①)。低頻度刺激は、与えた部位の神経活動を抑えると報告されており(②)、健康な脳の活動が抑制されることで、障害の起きた脳にかかる抑制が減少すると言われています(③)。

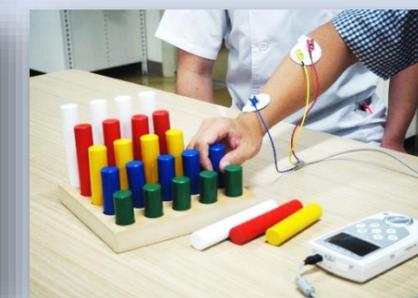


リハビリテーションの内容は？

rTMS実施後、個別での作業療法、能力に合わせた自主トレーニングを行っていただき、麻痺した手を日常生活で積極的に使用できるよう援助します。また、機能に合わせて電気刺激やロボット機器を用いたリハビリテーションの提供をすることがあります。



上肢機能訓練用ロボット (ReoGo-J)



電気刺激療法 (IVES)



rTMS 入院リハビリスケジュール ※手の機能や体力などに合わせて訓練内容や訓練時間が変わる可能性があります。

	月	火～金	土・日	月～木	金
	1日目	2～5日目	6・7日目	8～11日目	12日目
AM	TMS前評価 (60分)	TMS (20分)	作業療法 (20～40分*1)	TMS (20分)	
		作業療法 (40分)		作業療法 (40分)	
		自主トレーニング (20分)		自主トレーニング (20分)	
PM	TMS (20分)			TMS (20分)	TMS後評価 (60分)
	作業療法 (40分)			作業療法 (40分)	
	自主トレーニング (20分)			自主トレーニング (20分)	

*1 土日はTMS (磁気刺激) はなく、個別での作業療法訓練のみになります。